

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

菅平高原スキー大会組織委員会

2020.12.20 作成

2021.12.01 改正

2022.01.31 改正

（総則）

このガイドラインは、菅平高原におけるスキー競技会を安全に開催するため、新型コロナウイルス感染症対策として、選手・指導者・観戦者（以下、「参加者等」とする。）及び競技役員等の対応について必要な事項を定める。FIS/SAJ 公認競技会のほか、SAN 公認・後援、一般競技会にも準用する。

なお、新型コロナ感染の発生は当該地域のみならず、**国内のすべての競技会や選手強化等にも影響を及ぼすことを念頭**におく。感染拡大を防止するため、『飛沫感染予防』と『接触感染予防』の基本的な注意事項を各々が徹底すること。

（基本的事項）

スキー競技会の関係者は、全日本スキー連盟が定める『SAJ 競技会新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（最新版）』に基づき、感染対策を遵守しなければならない。

[\(http://www.ski-japan.or.jp/general/35824/\)](http://www.ski-japan.or.jp/general/35824/)

また、アルペン競技においては、『新型コロナウイルス感染対策アルペン競技会ガイドライン』にも留意すること。[\(http://www.ski-japan.or.jp/library/\)](http://www.ski-japan.or.jp/library/)

本ガイドラインと SAJ 競技会ガイドラインの内容に齟齬があった場合は、SAJ 競技会ガイドラインを優先するものとする。

1 大会（主催）開催者／組織委員会

- ① 大会終了後3日以内に、大会参加者及び競技役員等に体調不良者が出た場合は、SAJ アルペン委員会に報告する。
- ② 大会終了後2週間以内に、大会参加者及び競技役員等に新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、SAJ 事務局とともにアルペン委員会にも報告する。
- ③ 国内の感染拡大状況を見極め、大会の開催、中止を適切に判断する。

2 大会参加者等の遵守事項（競技役員にも一部適用する。）

- ① 大会参加者等は、SAJ 競技会 新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに記載の『2 参加者の遵守事項』に留意する。**なお、発熱症状等の該当する症状が、大会の2週間前から大会当日までに認められた場合は、参加を認めない。**

- ② 『新型コロナウイルス感染蔓延防止にかかる遵守事項同意書』を主催者が指示する方法で必ず提出すること。
- ③ 大会14日前から大会終了日までの間、『健康管理記録表』にて健康状態を記録し、主催者が指示する方法で必ず提出すること。
- ④ 大会期間中に緊急患者（体調不良者）が発生した場合は、主催者に遅延なく報告し、『緊急患者発生報告書』を提出すること。
- ⑤ 大会終了後3日以内に、大会参加者及び競技役員等に体調不良者が出た場合は、遅延なく、主催者に報告すること。
- ⑥ 大会終了後2週間以内に、大会参加者及び競技役員等に新型コロナウイルスの感染が判明した場合は、遅延なく主催者に報告するとともに健康管理表を提出すること。

3 参加要件

1) 有症状の感染者

- ・発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間以上経過した場合。
- ・症状軽快後24時間軽快した後、24時間以上間隔をあげ、2回のPCR検査あるいは、その他の核酸増幅法で陰性を確認した場合。

2) 無症状の感染者（病原体保有者）

- ・陽性が確定された検体採取日から10日間経過した場合。
- ・陽性が確定された検体採取日から6日間経過後、24時間以上間隔をあげ、2回のPCR検査あるいはその他の核酸増幅法で陰性を確認した場合。

3) 濃厚接触者

- ・最終曝露日（陽性者との接触等）から10日間以上経過した場合。

4) 大会参加日14日前以降に以下の症状を認める者は参加を見合わせる。

- ・発熱(37.5℃以上)
- ・せき、のどの痛みなど風邪の症状。
- ・だるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）。
- ・嗅覚や味覚の異常。
- ・体が重く感じる、疲れやすい等の症状。

4 海外からの帰国後の選手

- ① 選手・コーチは参加するレースの 14 日前までに帰国していること。
 - ☞ 選手・コーチは外務省の指示に従い、14 日間は公共の交通機関を使用せず、自宅待機を行うこと。帰国後、14 日以内の選手は、レースに参加することはできない。また、14 日以内の公共交通機関を使つての移動も認められない。
 - ☞ なお、上記項目は、外務省の措置および、それに伴う SAJ 理事会の決定により、シーズン中に変更されることがある。また、商業目的の旅行については、外務省が定める別の指示に従う。
- ② 前記、項目①については、最新情報により変更する場合がある。このため、競技会前に本ガイドライン、若しくは菅平高原スキークラブホームページを再確認のこと。
- ③ 出場レース 30 日以内に海外より帰国した場合は、入国日をエントリーフォームに記載する。SAJ アルペン委員会が定める所定のエントリーフォームを使用すること。

5 チームキャプテンミーティング (TCM)

チームキャプテンミーティングは、当面の間は、オンライン形式で実施するので、事前にアプリを取得しておく。

ID・パスワード等の詳細は、各競技会毎に事前に告知を周知する。

- ① 出席者は次のとおり感染防止に留意する。(通常の場合)
 - ☞ 事前に検温し、会場内は常時マスクを着用する。体調不良者の出席は認めない。
 - ☞ 出席者はチームキャプテン 1名 のみとする。必ず、筆記用具を持参する。
 - ☞ 出入口での手指消毒を徹底する。
 - ☞ 参加者の会話は最小限にする。出席者は 1-2m の対人距離間隔に留意する。
- ② ボードコントロールは、会場に掲示するエントリーリストで行う。(O, X を記入)
 - ☞ SAJ 競技本部が定める自宅待機規程の日数に満たない海外からの帰国選手は、ジュリーの判断でドロースタンドから外す。
 - ☞ ダブルドロースタンドは、固定された役員 (ジュリー) が行う。
- ③ ビブ配布は、TCM 終了後スタートリストを配布するので、指定されたチームから順次、指定の場所から持っていく。(取り間違えのないように注意すること。)
- ④ 上記の方法を基本とするが、感染状況等によりオンライン開催に変更することもある。この場合、菅平高原スキークラブホームページにて周知する。エントリーリスト同様に現地移動前に確認すること。(<http://sugadaira-ski.jp/>)

6 競技エリア (スタート、フィニッシュ)

- ① 選手同士、コーチやサービススタッフ等とは 1-2m の対人距離をとる。
- ② スタートエリアでは、常時マスクを着用する。(ネックウォーマーなども可)
- ③ ウォーミングアップの際は、十分な距離を保つことで、マスクを外しても良い。

- ④ 公式フィニッシュエリアから出た選手は、1-2mの対人距離をとる。
- ⑤ フィニッシュ直後で呼吸が荒いときは、対人距離を通常時より多くとる。
- ⑥ ビブは選手自身が、回収箱に投入する。
- ⑦ 観戦者は常時マスクを着用する。ネックウォーマーなどでも良い。
- ⑧ マスクや飲み物などは、自己管理を徹底し、使用後のゴミは責任を持って持ち帰る。
特に、ウィルスの**拡散防止**に注意を払い、競技エリアの清潔保持に努める。

7 スタートハウス

- ① スタートハウス内に入れる選手数は、1-2mの対人距離が取れる人数とする。
- ② スタートハウス内でのコーチの大きな声かけは禁止する。

8 コース内／コースインスペクション

- ① コースインスペクションは、ビブ番号等により選手毎の実施時間をずらすなどして、対人距離をとれるよう配慮する。（具体的な方法はTCMで周知する。）
- ② 常時マスクを着用する。ネックウォーマーなどでも良い。
- ③ 選手同士、コーチやサービススタッフとは1-2mの対人距離をとる。

9 表彰式

- ① 選手はマスクを着用する。また、手袋の着用を推奨する。（授与者は着用する。）
- ② 式典開始前に手指消毒を行う。握手やハグは行わない。

10 競技役員

- ① 当日の検温を実施し、37.5度以上の人、体調が悪い人は業務への従事を認めない。
- ② 用具を共用した手袋で、目や鼻をこすらないように注意する。
- ③ 屋外待機場所においても、1m以上の対人距離を保つ。
- ④ 集団で作業する場合は、対人距離と作業者の呼吸方向に注意する。
- ⑤ 作業で呼吸が荒くなった場合は、十分な対人距離をとる。
- ⑥ 無線機器・共用品・備品等は1日の業務終了後に消毒を実施する。
- ⑦ ゴール、タイミングハウス内は、30分に1回以上、数分間、部屋のすべての空気を外気と入れ替える。また、スタッフ間の間隔をとり、アクリル板等で衝立を設置する。
- ⑧ 室内での喫煙を禁止する。

11 索道（リフト）の利用

菅平旅客索道協会が定めるガイドラインに従い、施設からの求めに応じてください。

- ① マスク着用にご協力ください。
- ② 手洗い、手指消毒にご協力ください。
- ③ ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。
- ④ リフト乗車人数を制限する場合があります。リフトの係員の指示に従い、御協力をお願いします。
- ⑤ リフト順番待ち、および乗車中は、マスク等の着用、正面を向いての乗車をお願いするとともに、隣の方との大声での会話等を極力控えるよう、御協力をお願いします。
- ⑥ 風邪症状、発熱がある（発熱が数日間続いている）、だるさ（倦怠感）や息苦しさがある場合のご来場は御遠慮ください。
- ⑦ 上記記載のほか、ホームページ記載事項や各施設の依頼より対応してください。

12 宿泊施設の利用

菅平高原旅館組合が定める指針に従い、宿泊施設からの求めに応じてください。

- ① 出発1週間前からの検温・体調管理をお願いします。チェックイン時にも検温・体調チェックをお願いします。
- ② 下記に該当する症状がある場合は、来館を見合わせていただきます。
☞ 37.5度以上の発熱、頭痛、喉の痛み、咳、くしゃみ、寒気、節々の痛み
リンパ腫の腫れ、味覚臭覚の異常 等の自覚症状のある方。
- ③ チェックイン時、全員のお名前、住所、電話番号の記載をお願いします。
- ④ 定期的な手指の消毒、客室の換気にご協力ください。
- ⑤ マスクの持参、着用をお願いします。
- ⑥ 食堂、浴場にて、人数制限・時間制限にご協力ください。
- ⑦ トイレの蓋を必ず閉めて流してください。
- ⑧ 万一、感染が疑われる症状がある場合、室内で待機・マスク着用をお願いし、外出は控えていただきます。（同行者も同様）その後、保健所の指導により対応しますので、御協力をお願いします。
- ⑨ 上記記載事項のほか、各宿泊施設の依頼より対応してください。

13 レストラン等の利用

菅平高原旅館組合が定めるガイドラインに従い、施設からの求めに応じてください。

- ① 発熱や咳など異常が認められる場合は、店内飲食をお断りさせていただく。
- ② 入店時、消毒用アルコール等による手指消毒をお願いする。
- ③ 入店時、及び食事中以外はマスクの着用をお願いする。
- ④ 来店者同士のコップ、食器等の共用使用は避けていただく。（お酌を含む。）
- ⑤ 上記記載事項のほか、各施設の依頼より対応してください。

（注）本ガイドラインは、感染状況により適宜更新することがあります。

新型コロナウイルス感染蔓延防止にかかる遵守事項同意書

私は、「*大会名」について、新型コロナウイルス感染蔓延防止のために、次の事項を遵守して大会参加することに同意します。

- 大会14日前から大会終了日までの間、「健康管理記録表」にて健康状態を記録し、主催者の求めに応じて記録を提出します。
- 大会期間中を通じて、体調がよくない場合（発熱・咳・喉頭痛等）は参加しません。
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、参加しません。
- 過去14日以内に政府から、入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、参加しません。
- 大会期間中は、受付時、着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用します。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底して行います。
- 他の参加者、競技スタッフ等との距離を常に2m以上確保します。
- 大会期間中において、大きな声での会話、応援等はしません。
- 感染蔓延防止のために、主催者が決めたその他措置の遵守等、主催者の指示に従います。
- 大会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について、報告します。

年 月 日

氏 名 _____ 印

所 属 _____

連 絡 先 _____ ()

○必ず自署すること。

※団体(学校・チーム)で参加の場合は下記署名下さい。個々の同意書は不要です。

年 月 日

団 体 名 _____ 印

代表者氏名 _____

連 絡 先 _____ ()